

就労セミナー がん治療と仕事を両立させる 事前アンケート集計結果

全7ページ

診断後、就労に関して実際に困ったことをおしえてください。

- メンタル部分での相談相手が職場に居ない。同僚に理解を求めるのは限度があった。2年経過してようやく体力が回復してきたがそれまでの業務能力をあてにされていないように感じてモチベーションが下がっていった。
- 体調が悪いときの代理の人の在り方
- 通院のため仕事が忙しいときも休みを取らざるを得ないので申し訳無い気持ちになる。抗がん剤の副作用(下痢など)で会議中席を立つことが多く、不審がられる。風を引いても出勤するひとが多く、免疫の少ないがん患者には気が気でない。通院に有給を使い果たすので、必要なときに休みが取れない。
- 体力気力の低下でフルタイム就労が難しくなった。
- 甲状腺手術後の反四神経麻痺で発生が難しくなり、3年ほどは人とコミュニケーションを取るのが大変だった。教師なので狭い教室でもマイクを使わせてもらったり、出来るだけ視聴覚教材を使用した。
- 退院して自宅療養後、体力的にも時間的にもすぐに職場復帰できるかどうか悩みました。
- 主に右腕を使う仕事なので、右胸を手術した後仕事復帰したらリンパの流れが悪くなって筋が突っ張って3カ月間ぐらひは悪く、医師に相談して今は治りました。就労に関しては約1年お休みをもらっていたので、復帰してから人もやり方も変わっていてとまどいました。
- 働きたい気持ちはあっても、手術の後遺症や体力の低下や薬の副作用のため、診断前に働いていたときのように働ける自信がなかった。気持ちを前向きに保つことがとても難しかった。
- 仕事を続けていいのか続けられるか悩みました。
- 仕事で使うほうの手を手術した。
- 体力的に普通の仕事は無理。
- 仕事がない。
- 幸い同じ職場で仕事を続けられたがこの事例はまれで、会社の理解があったからだと思う。
- 抗がん剤の副作用で、細かい作業や手指に力が入らないなど人の手を借りないといけなかったことが多くなった。
- 周囲の理解が得られない。

診断後の就労に関して困ったことを具体的に／つづき

- 体調が思うようにいかなくて就活が出来ない。
- 治療が落ち着いたところでまた働き始めたが、すぐに再発転移が分かり放射線治療のため毎日通院することになったので仕事を辞めました。
- 職場のバリアフリーがあまり進んでない。
- 自営なので特に困ったことはなかったけれど、お客様に迷惑だけは掛けられなかったので、同じ仕事をしている上司に協力をお願いしました。
- 胃切除後症候群のダンピングで、食事後の休憩について遠慮があった。
- オペ後、重いものを持ったり出来なくなって、人に頼らないといけないことが多くなった。
- 診断後、術前までは気持ちが暗くなる自分をどう励ますかの毎日でした。しかし忙しい時期でもあり仕事をする事で気持ちが紛れるみたいなどころがあったので就労に困ったではなく仕事に助けられたという感じです。人それぞれ考え方が違いますので落ち込んで仕事どころではなくなるかたも多いとは思いますが、私の場合は毎日しなければならない事があるということはあるがありがたい事でした。
- 上肢の動きができず、また重いものを持つことができず、仕事にとっても影響があり、痛みが2年続き辛かったです。
- 面接時に病気の事を言う、書くこと。(履歴書など)
- 面接まではいくのに、そこで病気のことが話題になるとその場が凍りつく。結果不採用となることばかりだった。今は採用時は聞かれなかった職場なので、後日話をしている。ただしもう治ったんでしょと言われ、通院や服薬の時にまたどこか悪いの？と言われる。
- 病歴を伝えることで採用に不利になりそうで就職試験が受け辛い。
- レクレーションで温泉とか行くときに困った。
- 初期の甲状腺がんであったため全摘し、短期間の休暇で仕事に戻ったが、術後のきつさ、体調不良はあった。
- 就職出来るお声が掛かっていたが、治療のためすぐに返事が出来ず、他の方に決まってしまった。
- 出張が減少した。
- 病院では退院後すぐに仕事をして良いとのことでしたが、再発・転移の疑いが次々と続き、結果が出るまで不安…というのが続きました。患部が治っていない退院で、復職後もその箇所の清潔が保てなかった(現場だったので)。復職まで余裕を持てたら良かった。
- からだに負担のくる仕事を無理にでもしなくちゃいけないのが大変だった。

治療と仕事の両立のために実際やっていた工夫を教えてください

- 家族の理解。

治療と仕事の両立のために実際やっていた工夫は？／つづき

- 治療に対しては具体的にスケジュールを伝え、出来るだけ当日欠勤のないようにした。
- 放射線治療中で体力の回復が出来ていない期間は週に中一日休みを事前に申請した。甘えない事。仕事とプライベートの切り替え、ON・OFFを作る。
- できるだけ仕事は休まないように努力した。病気を理由に休んでしまうと仕事への意欲が減っていく恐れがあったから。
- 勤務時間を相談した。
- 外に出たら笑顔と元気のフリをしたと思う。
- 会社とよく話すこと。でも会社に理解があったから自分は助けられたが、理解が無い場合もあるだろう。
- 有給休暇を取り、通院・診療後出社し、就労するようにしました。少しでも周りの不満を減らすために。
- 年度当初のあいさつで**持病があるので迷惑をお掛けします**と話すようにしている。
- 病気のことをオープンにし、通院の際の休みを取りやすくしてもらった。
- 近所にママ友が数人いて、通院時や仕事が遅くなるときは子供を預かってくれたり泊めてくれたので助かった。私も自分ができるときはご近所の子供たちを預かったり夕食を差し入れしたり、地域の協力体制に助けられた。
- まわりに迷惑を掛けたくないというのがあり、頑張りすぎるところもあったのですがそのことで体調を壊すといけないので出来るだけ体調を伝えたいと思いました。
- 平日何かあったときにいつでも病院へ行けるように週3日に仕事を減らしてもらいました。
- 信頼出来る人への相談。がんであることを伝えたときに力になってくれる人を慎重に選んだ。がんの治療内容、手術についての説明や薬の副作用について理解してもらえるように話す機会をつくった。
- 自分で肩を回したり温泉に行ったりしたけどあまり効果が無かった。
- 知り合いに声を掛ける。
- 同じ職場で役職を下げ、次の上司に従うよう気持ちを切り替えた。あまり難しく考えずに、自分の病気を最優先にしたことが良かった。
- 交代勤務だったので、受診日の確保などチーム（同僚）で話し合いをした。両立できなかった。
- 休みがとりやすい職場。自分の体の状態に合った職種を探す。
- 自営なので、自分の身体の体調に合わせて仕事出来るので助かっています。周りの方へ相談をして、多少のワガママを聞いていただいた。
- 入院前はなるべく職場に迷惑を掛けないよう事前に出来る仕事はやって引き継ぎをしました。病院にパソコンを持ち込めたので助かりました。

治療と仕事の両立のために実際やっていた工夫は？／つづき

- 治療終了まで休ませていただいたので、休めたことがありがたかったです。
術後の診断で、抗がん剤と放射線治療を選択しました。抗がん剤治療を4クール、その後放射線治療を25回、合わせて約半年の治療です。抗がん剤治療は午前中の半日で済みましたので午後から勤務、放射線治療は勤務になるべく支障がないよう朝イチで受けられるように予定を入れてもらえたので、毎朝15～20分ぐらいのずれで出勤することができました。時間的に通院可能な病院であったことは、就労と治療の両立にかなりプラス要素でした。実践した工夫ではありませんが、近くに良い病院があったことは私にとって幸運でした。
- 結局知り合いに頼ってしまった。
- ともかく話して理解してもらおうほか無い。
- 体力を使う仕事場でした。私は右側が少し体力不足でしたので、すべての作業を左手（左側）を中心に使うよう努力し、他の仲間に迷惑を掛けないよう努力して職場復帰しました。薬の副作用で更年期のような症状が出ることを職場で話し、夏はカーディガンを使用したり冬に汗びっしょりになったり他の人と異なる事をしてもらっては薬の副作用であると話し、その時の自分の体調に合わせて仕事をしました。
- 治療中は休職扱いであったため、休職期間内に治療が終わるように治療計画通り頑張ったことぐらいでしょうか。職場の中で直接かかわりのある方へは自分の病気の事を隠さずに話をし、自分自身の状態を随時伝えていました。周囲に自分の病気の事について理解してもらえるように自分自身から積極的に話をしていました。
- 3回の入院がそれぞれ10～14日で、仕事は休みましたが淡々と復帰しました。自分の中ではそれが普通だと思っていたので。
- 仕事はしているが検診はきちんと受けようと思っていたので、仕事が重なったときは早めに替わってもらった。
- 経過観察のための工夫として、平日に通院しやすいように土日の勤務について代休を充てる。治療中はずっと入院していました。
- 病気の内容や症状を上司に詳細に説明し、理解してもらった。
- 職場の方に話して協力いただいた。
- 寛解から再発などの間、健康状態に合わせて、ペースを調整することが可能な仕事を探した。
- 特に出来なかったもので、退職希望した。

治療中に働く事に関して、知りたい事と要望を書いてください

- 会社はどの程度まで治療に理解してもらえるのか？どこまで話してOKなのか？不利にならないか？

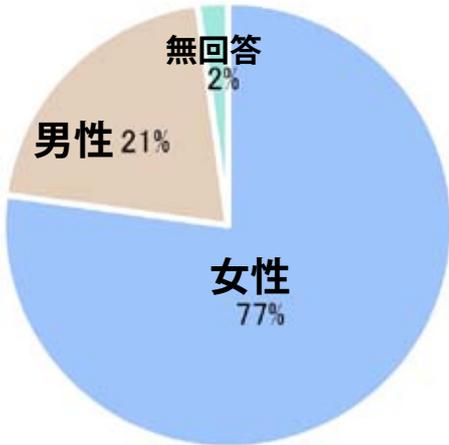
治療中に働く事に関して、知りたいことや要望／つづき

- 職場ごとに違うのできちんとアドバイスしてくれるところが欲しい。メンタル部分の支え、ポジティブになれるような場、堅苦しくなく楽しいことをやる場、笑える場所の提供。病気を理由に企業側が配置の転換を求めたり、暗に退職を促すような動きに悩んでいる友人の話聞いたことがあります。なんだか世の中のひずみを見せられたようで辛かったです。私自身そのようなことはありませんでしたが、仕事を追われる人がいるこの現状がもっと明るみになる世の中になってほしいです。
- 体調が優れずパートを希望した人がいるが、病気のことを話すとやはり就労できない現状があると言われました。それを相談できる機関があればいいと思います。
- 時間休を取れる仕事場が増えてほしいと願います。
- 休んだときの保障制度が知りたい。
- 私は手術のみで継続的な治療はなく定期的な診察でしたので困ったことはあまりありませんが、仕事量との兼ね合いもあり、勤務中の休憩をなかなか取れずにいます。同僚は休憩を勧めてくれています。また、継続的な治療が必要になったとき、どこまで両立できるか不安があります。
- がんの治療中や術後、働くことができないときの公的な支援について知りたいです。また病気を隠さずに就労できるような取り組み、例えば企業側への働きかけなどがあったら教えていただきたいです。
- 短時間での仕事があるのか。
- がん患者に理解のある企業を増やすためにPR活動が必要。
- 障害者などの就労支援はあるが、病気をした人への支援はあるのか。
- サバイバーでも雇用してもらえる会社が増えると良いですね。
- 社会的なバックアップ制度。知らないことが多い。
- もっとがん患者の就労支援を充実してほしい。ハローワークとか国の方針で。病気を持っても働くことによっていろいろな情報に接するし、そうすると趣味を見つけられたり、気がやる気になり、よいと思う。疲れやすいこともあるし、不安のため自信を無くしそうな時もあるが、そのときは休みを取りながら続けていきたい。
- 私は復職後うつ状態がひどくなり体調を崩しました。そういうことを予防できるようなサポート（受け入れ体制）があると良いなあと思います。
- 就労したいと思っても年齢や体力にふさわしい仕事が無い。私はがん体験を生かして、がん対策NPOを立ち上げ、県（佐賀県）から業務委託を受けて今の仕事としている。年金で生活しながら社会貢献に従事していることに満足している。
- 体の障害、通院があるので、仕事探しが難しい。

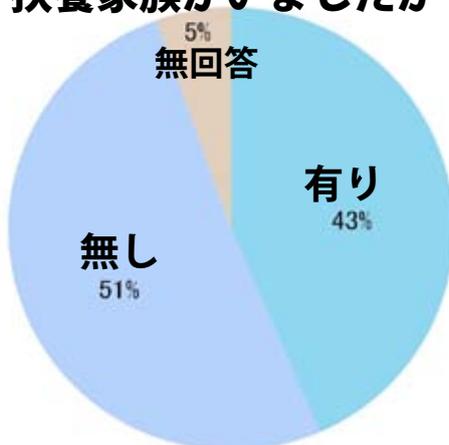
がん治療と仕事を両立させる 事前アンケート集計結果

回答者数92名

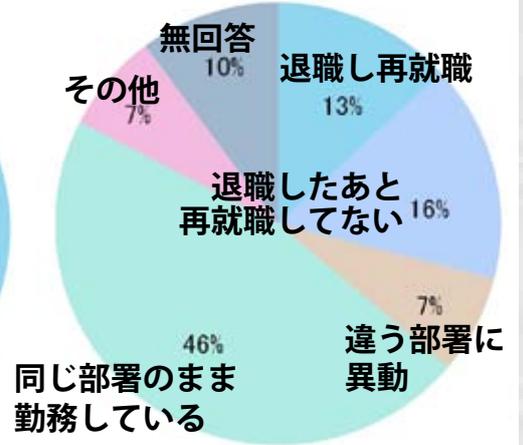
あなたの性別は？



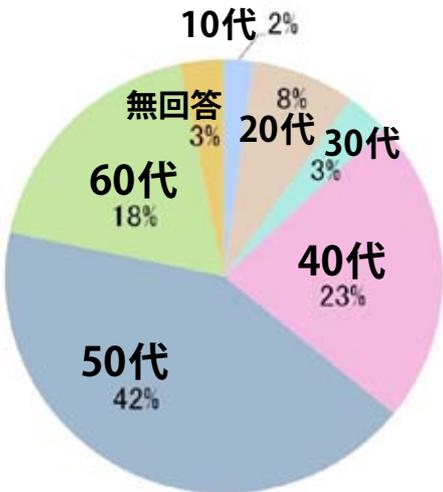
診断時に 扶養家族がいましたか



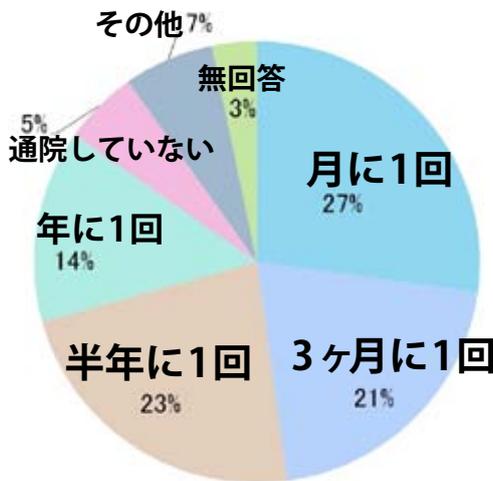
治療中の働き方の変化



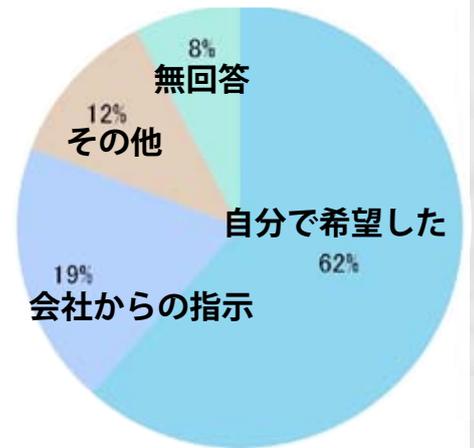
がんと診断された時の 年齢



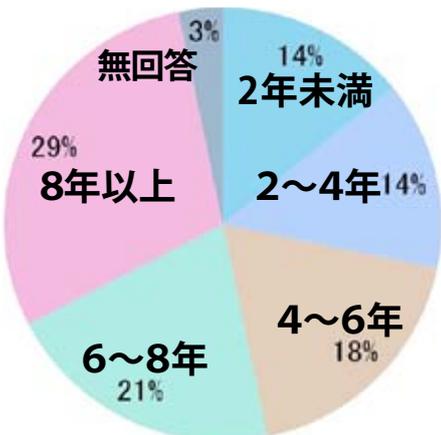
現在の通院の頻度



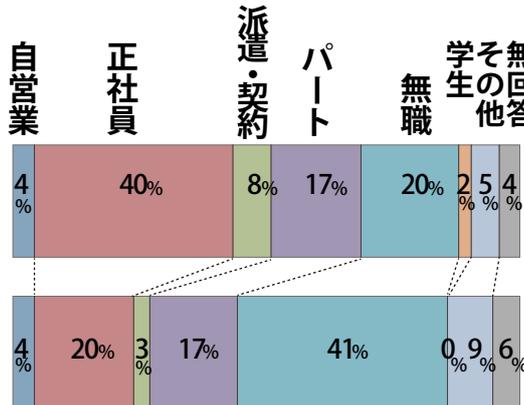
退職・異動された方は どのような経緯ですか



診断後経過した年数

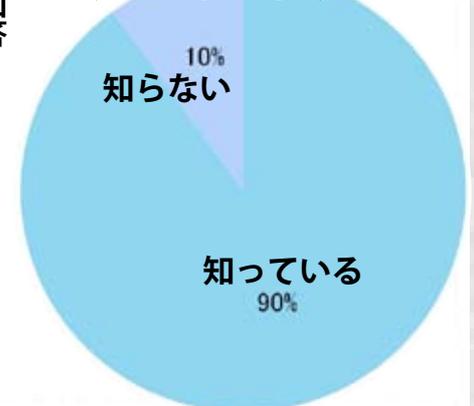


診断時と現在の 就労形態



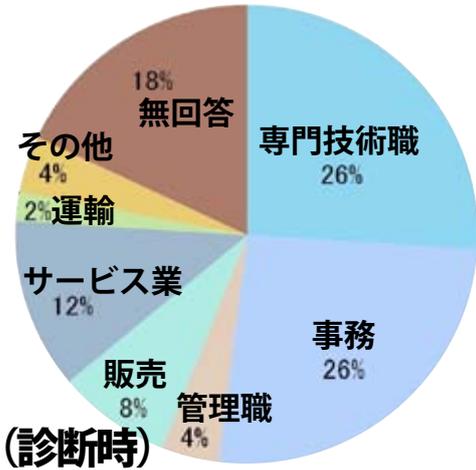
※上が診断時
下が現在

再就職した方は、 現在の雇用主は あなたの治療歴を 知っていますか

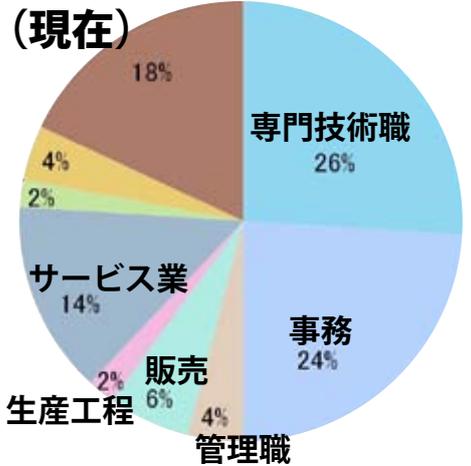


がん治療と仕事を両立させる 事前アンケート集計結果

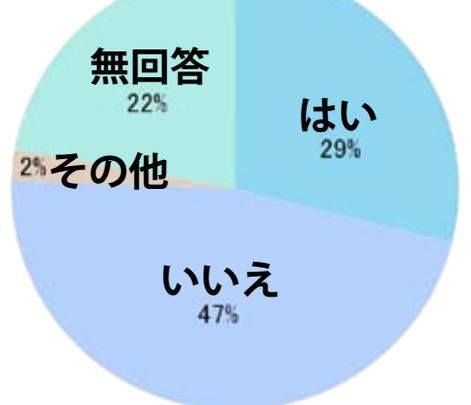
働いている方は、
診断時と現在の最も近い
業種を選んでください



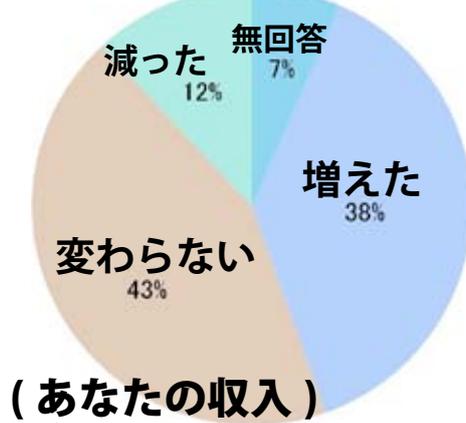
(現在)



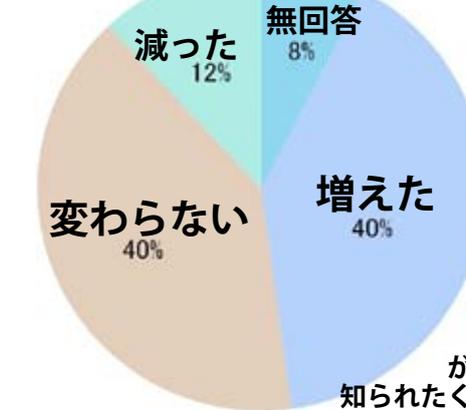
無職の方は、
将来働きたいと思えますか



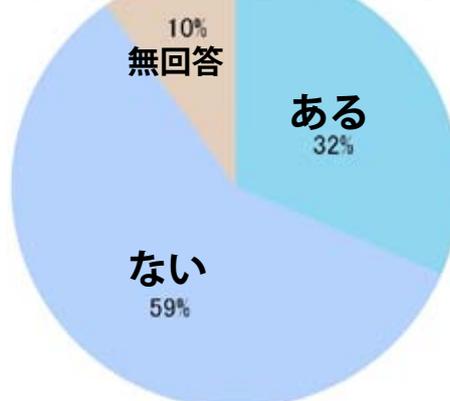
告知後の今、
あなたの収入と世帯収入に
変化はありましたか



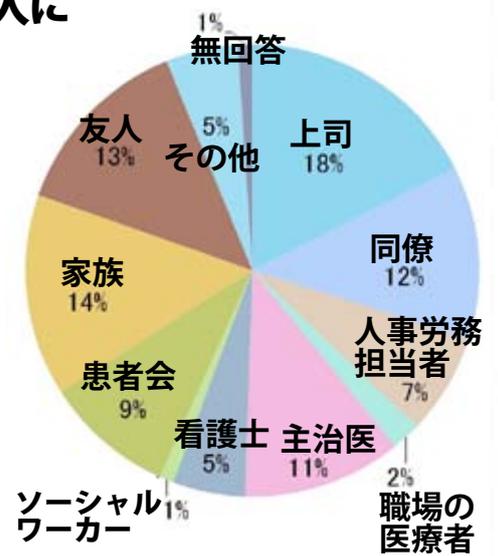
(あなたの収入)
(世帯の収入)



就労に関して誰かに
相談したことがありますか



相談した方は、
相談を
誰にしましたか



相談してない方は
何故ですか

